

## 第2回恵庭市市民活動支援制度審査会 結果報告

1. 審査日時 2020年6月1日（月）10時～12時15分

2. 場 所 市民活動センター 2階 会議室8

### 3. 審査員

委員長	市民活動コーディネーター	水野 みどり	出席
副委員長	総務部限財務室長	小林 勉	出席
委員	企画振興部次長	大西 隆行	出席
委員	教育部次長	大嶋 克幸	出席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	高橋 正彰	欠席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	神田 美佐子	欠席
委員	市民活動コーディネーター	浅野 小百合	欠席
委員	市民活動コーディネーター	中嶋 あゆみ	出席
委員	市民活動コーディネーター	和田 光雄	欠席
委員	市民活動コーディネーター	石山 香織	出席
委員	市民活動コーディネーター	小隅 麻美	※事務局

### 4. 申請団体及び審査結果

#### ① チームSOU（協働担当課：社会教育課）

事業名	大人も子どもも体験楽習
事業概要	SDGs 地方創生カードゲーム、間伐材を使った楽器作りワークショップなどを通じてふれあいやコミュニケーションの重要性を知る
審査結果	<委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等> ・この時期に事業をスタートさせること自体が市の原動力になると思う。 ・SDGsは世界的に持続可能な開発目標として取り組まれている内容であり、身近なことから認識して未来に繋げていって欲しい。 ・多くの方に伝わるように、まずは「SDGsとは」という言葉から伝えて欲しい。 ・木育も子ども達に有益だと思う ・実施にあたっては感染症対策をしっかりと行って欲しい。
採択	

#### ② NPO法人 おはな（協働担当課：保健課）

事業名	サロン おはな（がん患者・家族・遺族会）
事業概要	心のケアやサポートのために月に1回がん患者本人やその家族・遺族を対象としたサロンを開催し、3ヶ月ごとに講座やイベントを開催。対象者が気軽に集まり情報交換ができる場を作る。
審査結果	<委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等> ・がん患者・家族への支援の着眼点が良い。今後も協働課と連携を強めて活動してほしい。 ・身近な病気ではあるものの、悩みを訴える患者同士が触れ合える場として継続して事業を展開してほしい。 ・たくさんの方の「はじめの一歩」となるのを期待する。 ・様々なニーズに応えられる体制づくりも必要。 ・民間レベルでサポートする場が市内にできたのは大いに期待する。
採択	

③ 恵庭発達障がいネットワークすくらむ（協働担当課：子ども発達支援センター）

事業名	発達障がいについての啓発・相談事業
事業概要	発達障がいに関する講演会、有資格者による相談会、パネル展の開催
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・これまでの協働でやってきた実績を見ても有効な事業であると考える。 今後の新しい取り組み（他団体とのコラボなど）にも挑戦して欲しい。 ・発達は個性であるという理解が広まるように地道に活動を続けて欲しい ・事業の周知によりちからを入れて、多くの方に知つてもらう機会として欲しい。
採択	

④ 恵庭まちじゅう図書館スタンプラリー実行委員会（協働担当課：読書推進課）

事業名	恵庭まちじゅう図書館スタンプラリー
事業概要	恵庭まちじゅう図書館からスタンプラリー参加店を募り、各店をめぐるスタンプラリーを開催し、市民と一体になった読書のまちづくりを促す。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・街中の店舗が図書に触れる場を提供できることは良い取り組みだと思う。 ・回数も重ねて事業の精査も必要な時期になっていると思われる。実施時期や周知の方法、新しい企画も含めて挑戦してほしい。
採択	

⑤ NPO法人まちづくりスポット恵み野（協働担当課：市民生活課）

事業名	市民ファシリテーション講座
事業概要	ファシリテーションを使うことにより、住民が対話を通じて地域やコミュニティの課題を解決していく手法を学ぶ。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・前年度も盛んに事業を実践されており、今後参加者が増えていくことで、地域における課題解決に向けた手法となることが期待される。 ・「ファシリテーション」という言葉に馴染みのない方にもわかるように周知をしてほしい。 ・若い世代が学べる機会が増えることを期待する。 ・受講者の感想なども聞いてみたい。
採択	